

## 女性委員会+福祉・防災まちづくり部会合同セッション

テーマ

### コミュニティケア型 仮設住宅地を考える

運営 ■ 女性委員会、福祉まちづくり部会、防災まちづくり部会

東日本大震災時、東京大学高齢社会総合研究機構が提案し、岩手県釜石市と遠野市に建設された「コミュニティケア型仮設住宅」があります。この仮設住宅のコンセプトは、①コミュニティごとの入居者選定、②面積が異なる住戸で住棟を構成、③共用施設の設置（サポートセンター、仮設店舗など）、④屋根付きデッキ、⑤コモンアクセス（玄関が向かい合う住棟）、⑥リビングアクセス型の間取り（人の気配を感じる）、などです。

女性委員会では災害時の福祉避難所の運営状況に関する調査を実施、福祉まちづくり部会では高齢者・障害者のための住宅改修における仕組みづくりを提案、防災まちづくり部会では行政との連携した事前復興計画づくりとともに木造仮設住宅の供給支援の取り組み——と、それぞれが平常時はもちろん、災害時にも地域住民の



セッションイメージ(昨年大会より)

暮らしを支える、安全で快適な場のあり方について考えてきました。

そこで、このセッションでは、それぞれの知見を活かした合同セッションならではの「コミュニティケア型仮設住宅」を協議し、提案できたらと考えています。

日時…平成29年12月8日(金) 10:00~12:00

会場…京都市勧業館「みやこめっせ」特別展示場B

定員…140名(予定)

## 環境部会セッション

テーマ

### 各地の気候風土型認定 住宅認定指針策定に 向けた単位建築士会の 取り組み

運営 ■ 環境部会

2020年に向けた建築物省エネ法のロードマップを念頭にして、昨年、国交省より気候風土型認定住宅ガイドライン案が発表され、全国の特定行政庁が地域に沿った認定指針を策定する段階に入りました。今後、各地域では、実務者の意見を反映した各地域の認定指針の策定のための提言を行うことを前提として、勉強会を進めていくことが求められています。



セッションイメージ(昨年大会より)

京都大会では、すでに活動を開始している先進事例を紹介し、その流れと考え方を共有するための研究報告会を開催します。

日時…平成29年12月8日(金) 10:00~12:00

会場…京都市勧業館「みやこめっせ」大会議室

定員…120名(予定)